

ノーベル賞受賞者 大村智博士来町!

わらどん

平成31年2月13日

発行責任者 早川北小学校 校長 深澤順美

大村博士のお話を聴きました

平成三十一年も一ヶ月が過ぎました。遅くなりましたが、本校へのご支援の程宜しくお願い致します。平成三十年度も、あと三学期を残すだけになりました。早川北小学校 学校教育目標『自ら学び明るくたくましい子どもの育成』

のために一日一日を今まで以上に大切に過ごしたいと思えます。これからもよろしくお願いいたします。
さて、二月一日(金)に、大村 智博士が来町し、子どもたちに『私のあゆんできた道』と題して講演をしていただきました。大村博士は、山梨県韮崎



市の出身で、二〇一五年に「ノーベル生理学・医学賞」を受賞しました。お年は、八十四才です。
お話では、できるだけ子どもたちに分かりやすい表現を使っていただきました。スライド写真では、博士の小さい頃の写真やアフリカの子どもの写真を用いるなど、子どもたちの関心を高めていただきました。博士の「人のために努力すること、夢に向かって子どもたちを学ぶこと」などを紹介する、〇一期一会という言葉が、



心に残りました。長い間、いろいろな人と一緒に研究してきたからこそ、心に残るのかなと思いました。博士が開発した「イベルメクチン」は、じめじめの言葉が心に残りました。
子どもたちなりの思いを持ちました。
博士へのお礼として、早川町の特産品、雨畑茶やハム、味噌等をお渡ししました。博士より、色紙や書籍を学校にいただきました。色紙には、「一期一会」と書かれてあります。ノーベル賞受賞の大村博士に出会えたことは、子どもたちの「一生の宝物」になったと思います。

スキー教室 上手に曲がれました!

一月二十四(木)・二十五日(金)は南北小学校スキー教室でした。四年生と六年生までが参加しました。

子どもたちのレベルごとにグループ編成をしました。初級の子もたちは、スキーに慣れることからスタートし、ハの字で止まる・ハの字で曲がる等を練習しました。インストラクターの先生より、ポイントを指導していただく、一日目にはハの字で曲がるようになり、二日目は、リフトにも乗って、滑れるようになり、中級や上級の子もたちも、すいすい滑っていました。
どの子もスキーの技術が向上でき、充実感あふれる表情でした。

早川町の子どもたち

一月十七日(木)、児童集会を行いました。早川町の特徴ある場所や物に関するクイズをしながらすごろくを楽しみました。二人一組でサイコロをふりながらゴールを目指しましたが、サイコロの目が、思うように出ず悪戦苦闘していました。



BEANS学習成果発表会

平成31年 2月26日(火) 13:00~

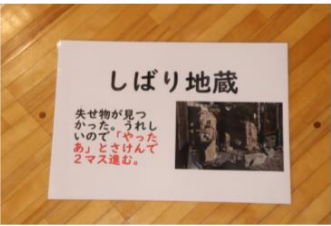
早川北小学校 和室

3年生以上全員が、野鳥公園で研究したことを発表します。研究対象は、木の実、昆虫、こけ、クルミの木、シカ、けもの道、等々です。

当日は授業参観、学校評議員会を兼ねています。



大すごろく大会(児童集会)



5・6年生 プログラミング教室



南北小合同スキー教室



大村智博士 講演

